

令和元年 5 月 31 日

情報処理学会四国支部令和元年度支部報告会および特別講演会

日時： 令和元年 5 月 31 日（金） 14:40～16:10

場所： 愛媛大学 工学部 本館 第 2・3 会議室

(〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3)

<https://www.ehime-u.ac.jp/overview/access/johoku/>

1. 支部報告会 14:40～15:10

開会の辞

支部長挨拶 愛媛大学 工学部長 教授 高橋 寛 支部長

本部役員挨拶 情報処理学会 楠 房子 理事

報告事項

- 平成 30 年度事業報告および令和元年度事業計画案について（資料 1）
- 平成 30 年度決算報告および令和元年度予算案について（資料 2）
- 令和元年度支部運営員改選結果および令和元年度支部運営委員について（資料 3）
- 令和元年度電気関係学会四国支部連合大会の開催について（資料 4）
- ジュニア会員イベントについて（資料 5）

閉会の辞

2. 特別講演会 15:10～16:10

講演者 : 多摩美術大学美術学部情報デザイン学科 教授

楠 房子 氏 （情報処理学会理事）

講演題目 : 「聴覚障碍児のためのセンシング技術を用いた人形劇のデザイン」

以上

平成30年度事業報告および令和元年度事業計画

■平成30年度事業報告

会議名	開催日	会場	出席
【1】 支部報告会	平成30年6月1日	高知工科大学永国寺キャンパス	17名
【2】 定例役員会等 5回 第1回支部役員会 第2回支部役員会 第3回支部役員会 第4回支部役員会 第5回支部役員会 (2019年度第1回支部役員会)	平成30年6月1日 平成30年9月22日 平成31年1月10日 平成31年3月23日 令和1年5月31日	高知工科大学永国寺キャンパス 国際ホテル松山 愛媛大学城北キャンパス 愛媛大学城北キャンパス 愛媛大学城北キャンパス	11名 13名 9名 10名 14名
【3】 支部大会 2018 電気関係学会四国支部連合大会	平成30年9月22日	愛媛大学城北キャンパス	403名
【4】 支部講演会 5回 (1) 「テスト駆動開発: 質を作り込む」 講師: 和田卓人 (タワーズ・クエスト株式会社取締役社長)	平成30年7月21日	情報通信交流館 e-とびあ・かがわ	約40名
(2) 「OpenSSLと脆弱性HeartBleed」 講師: 中矢誠 (アキユトラス)	平成30年10月6日	サンポート高松 e-とびあ	
(3) 「Ruby のつくりかた」 講師: 笹田耕一 (クックパッド株式会社)	平成30年10月18日	高知工科大学	110名
(4) 「情報化(システム開発)の光と影～情報化は何故失敗するのか? これからのIoT時代に貢献するために何が重要か?～」 講師: 西岡潔 (東京大学 先端科学研究センター)	平成31年1月25日	愛媛大学	130名
(5) 「プラットフォームを巡る最近の動向」 講師: 須田和博 (愛媛大学客員教授, 中央大学客員教授, 元NTTデータ常務, 元総務省総合通信基盤局長)	平成31年2月18日	愛媛大学	9名
【5】 支部事業 3回 (1) 「ソフトウェアテストシンポジウム2018四国 (JaSST' 18 Shikoku)」協賛	平成30年12月14日	香川大学	27名
(2) 「LED総合フォーラム2019 in 徳島」協賛	平成31年2月23日	徳島グランヴィリオホテル	220名
(3) サイバーセキュリティシンポジウム道後2019 共催	平成31年3月7日-3月8日	愛媛大学	414名
【6】 30周年記念事業 (1) 「学生セミナー」 講師: 松本隆明 (IPA顧問, 元IPAソフトウェア高信頼化センター 所長)	平成30年9月21日	愛媛大学	63名 (うち非会員30名)
(2) 2018 電気関係学会四国支部連合大会 特別講演 「エネルギーの情報化-電力ネットワークと情報ネットワークの統合を目指して-」 講師: 岡部寿男 (京都大学学術情報メディアセンター教授, 情報処理学会副会長)	平成30年9月22日	愛媛大学	132名
(3) 学生との懇談会	平成30年9月22日	愛媛大学	15名 (うち非会員1名)
【7】 学生奨励賞 電気学会四国支部、電子情報通信学会四国支部と合同で表彰			46名表彰

以上

■令和元年度事業計画

令和元年度事業として、下記の事業を計画し、会員相互の啓発と交流を図る。

【1】 支部報告会 新年度役員、2018報告、2019計画、収支状況の報告など 記念講演会
【2】 支部役員会等 4回 支部幹事および支部委員合同会議を実施する。
【3】 支部大会 支部会員の研究発表の場を設ける。
【4】 支部講演会 積極的に講演会を実施・後援する。 実施にあたっては、四国各県でバランス良く開催し、 支部会員にとって有意義なテーマを選定する。
【5】 支部共催事業 四国で開催される情報分野のセミナー等を共催する。 予定されているセミナー等は以下の通りである。 ・ソフトウェアテストシンポジウム四国 ・LED 総合フォーラム 2020 in 徳島 ・サイバーセキュリティシンポジウム道後
【6】 ジュニア会員向けイベント ロボットプログラミングに挑戦するイベントを開催する。
【7】 表彰 電気学会四国支部、電子情報通信学会四国支部と 合同で支部奨励賞 (学生対象) 等を贈呈する。
【8】 その他 四国地区における情報関連学会との交流を図る。

以上

平成30年度決算および令和元年度予算

■区分経理用収支計算書 四国支部

収入	2018年度		2019年度
	予算	決算	予算
本部からの繰入相当額	2,357,060	1,961,095	1,478,000
支部交付金相当額	1,420,000	1,420,000	1,378,000
記念事業支援金相当額	937,060	541,095	0
ジュニア会員向けイベント補助			100,000
事業収入	0	290,805	0
支部大会	0	290,805	0
講演会	0	0	0
研究会	0	0	0
	0	0	0
補助金収入	0	0	0
	0	0	0
雑収入(利息等)	0	0	0
当期収入合計(A)	2,357,060	2,251,900	1,478,000

支出	2018年度		2019年度
	予算	決算	予算
事業費	1,867,060	1,352,138	990,000
支部大会	300,000	220,000	260,000
講演会	300,000	325,221	300,000
支部30周年記念事業	937,060	541,095	0
イベント協賛・後援(ジュニアイベント)	250,000	194,108	350,000
学生奨励賞表彰	80,000	69,896	80,000
雑費	0	1,818	
管理費	490,000	390,123	488,000
評議員会・幹事会	400,000	344,444	400,000
総会	10,000	0	3,000
事務委託会社への委託費	50,000	0	50,000
ホームページサーバ使用料	30,000	42,768	30,000
その他(事務業務関係)	0	2,911	5,000
雑費	0	0	0
予備費等(任意)	0	0	0
当期支出合計(C)	2,357,060	1,742,261	1,478,000
当期収支差額(A-C)	0	509,639	0

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
支部	愛媛	香川	香川	徳島	高知(工科大)	愛媛	香川						
支部長	小林真也	最所圭三	徳島	高知(工科大)	愛媛	香川							
支部事務局	高橋寛 樋上喜信	八重樫理人 黒田久泰	高木智彦 黒田久泰	横山和俊 横山和俊	高橋寛 甲斐博 遠藤慶一	香田弘司 伊藤桃代							
愛媛	黒田 勉	黒田 勉	高木智彦	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰
香川	黒田 勉	黒田 勉	高木智彦	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰	黒田 久泰
徳島	光原 弘幸	光原 弘幸	泓田正雄	横山和俊	松崎公紀	松本和幸	伊藤桃代						
高知	村岡道明	森雄一郎	横山和俊	最所圭三	松崎公紀	松本和幸	伊藤桃代						
支部委員(監事)	前支部長	菊地時夫	小林真也	最所圭三	松崎公紀	松本和幸	伊藤桃代						
		甲斐博	二宮崇	遠藤慶一	遠藤慶一	遠藤慶一	遠藤慶一	遠藤慶一	遠藤慶一	遠藤慶一	遠藤慶一	遠藤慶一	遠藤慶一
		佐々木隆志	阿萬裕久	黒田久泰	黒田久泰	黒田久泰	黒田久泰	黒田久泰	黒田久泰	黒田久泰	黒田久泰	黒田久泰	黒田久泰
		香川 考司	安藤一秋	森藤義雄	石下隆美	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋
		佐野雅	三好 秀樹	石下隆美	石下隆美	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋	安藤一秋
		松本和幸	伊藤桃代	戸川 聡	大野将樹	吉田稔	吉田稔	吉田稔	吉田稔	吉田稔	吉田稔	吉田稔	吉田稔
		松崎公紀	横山和俊	高田喜朗	高田喜朗	高田喜朗	高田喜朗	高田喜朗	高田喜朗	高田喜朗	高田喜朗	高田喜朗	高田喜朗
		塩田 研一	本田理恵	塩田研一	塩田研一	塩田研一	塩田研一	塩田研一	塩田研一	塩田研一	塩田研一	塩田研一	塩田研一
		最所圭三	獅々堀正幹	獅々堀正幹	獅々堀正幹	獅々堀正幹	獅々堀正幹	獅々堀正幹	獅々堀正幹	獅々堀正幹	獅々堀正幹	獅々堀正幹	獅々堀正幹
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸	光原弘幸

(2011までの旧称)

連合大会担当
奨励賞担当

情報	電子	電気	電子	電気	情報	電子	電気	電子	電気	情報	電子	電気	電子
電子	電子	電気	電子	電気	情報	電子	電気	電子	電気	情報	電子	電気	電子

令和元年度電気関係学会四国支部連合大会発表論文募集要項

令和元年度電気関係学会四国支部連合大会を下記要領により開催します。奮ってご投稿ください。

実施日	令和元年9月21日(土)(一般講演, 特別講演)
場所	新居浜工業高等専門学校(愛媛県新居浜市八雲町7-1)
講演資格	講演者は、下記主催学会の会員(学生会員を含む)であること。 ただし、企業からの発表についてはこの限りではない。留学生については、国内外の電気関連学会の会員であれば講演資格を有する。また、申し込み時に入会手続き中である場合は、 8月23日までに入会手続きを完了すること。
講演部門	「基礎」、「放電・高電圧現象」、「電力」、「電気機器」、「パワーエレクトロニクス」、「照明・電熱」、「計測」、「制御」、「電子回路」、「計算機」、「材料」、「通信」、「映像メディア・画像処理」、「医用生体工学」、「人工知能」、「ネットワーク・セキュリティ」、「情報処理応用」、「情報システム」(ただし、発表部門は実行委員会において変更する場合があります。)
講演内容	最近行った主催学会に関連ある研究、調査、設計、開発、工事報告、現地試験報告などで、学術的価値があるものとする。すでに発表済みのもの、あるいは発表予定の内容と著しく類似するものは受理しない。
講演件数	講演は一人一件に限る。ただし、同一人が数件の投稿論文の共著者になることは差し支えない。
講演形態	口頭発表(質疑応答を含め10分間)。事務局が液晶プロジェクタを準備するので、発表者はパソコン等を用意すること。
講演論文	実行委員会指定の「論文原稿見本」に従うこと。図面、写真等を含めてA4版用紙1ページの原稿を、ワープロ等を用いて作成すること。指定の様式から外れた原稿は受理しない(特に、 <u>A4版用紙であること、上端30mm、下端25mm、左右各々18mmの余白を残すこと、講演題目の左に講演番号を挿入するための余白を50mm以上確保することに注意</u>)。論文集の発行日は、 令和元年9月14日(土)とする。
講演申込	講演申込方法は、6月中旬までに下記の連合大会ホームページにて案内する。
投稿期限	原稿は、令和元年7月26日(金)17時までに下記ホームページから投稿すること。投稿期限後の変更・訂正には一切応じない。
講演言語	論文および発表言語は、日本語または英語とする。
諸費用等	大会参加費(論文集代を含む)は、8月23日までに、ゆうちょ銀行振替口座に送金すること。振替手数料は申込者負担とする。送金者名の前に受付番号を付記すること。 <u>複数名分を同時に送金する場合は、全員の氏名および受付番号を振込取扱票に記入すると共に、大会ホームページに掲載されている送金内訳連絡票に記載の上、電子メールで事務局宛に通知すること。</u> ・大会参加費(論文集代を含む) 事前登録(8月23日までに送金・登録が完了すること) 正会員 3,000円、非会員 3,500円、 学生会員(発表者) 1,000円、学生(聴講のみ) 0円(事前登録は必要) 振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 01650-6-133510 電気関係学会四国支部連合大会2019 (デンキカンケイガクカイシヨクシブレンゴウタイカイニゼンロイキョウ)
事務局	現地登録 正会員 4,000円、非会員 4,500円、学生会員(発表者)2,000円、学生(聴講のみ)1,000円 〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 弓削商船高等専門学校 情報工学科内 令和元年度電気関係学会四国支部連合大会実行委員会 事務局担当 TEL:0897-77-4663 E-mail:meeting@sjciee.org
ホームページ	一般講演、懇親会等の詳細および連合大会事務局からの連絡は、 <u>随時ホームページを通じて行う。</u> 電気関係学会四国支部連合大会ホームページ http://sjciee.org/
主催	電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、照明学会、映像情報メディア学会、計測自動制御学会、IEEE、電気設備学会 各四国支部
その他	優秀論文発表に対して次の表彰がある。 ・電気関係学会四国支部連合大会 優秀発表賞および英語発表奨励賞 ・電気学会論文発表賞B(35歳以下の電気学会会員対象)

電気関係学会四国支部連合大会原稿見本

The Writing Sample for the Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers

電気 太郎¹ 四国 次郎² 連合 三郎³
T.Denki¹ J.Shikoku² S.Rengoh³
(電気大学¹, 情報大学², 通信高専³)

1. まえがき

論文集は、発表者から投稿された PDF 形式の原稿を原稿として、A4 サイズでそのまま CD-ROM 化が行われるため、以下の点に注意して原稿を作成する。原稿の書き方が不相当である場合は、原稿どおりに掲載できないので十分注意する。

2. 原稿の書き方に関する注意

原稿は 1 件あたり、表題、著者名、図や写真、表を含めて A4 版サイズ 1 ページに限る。さらに CD-ROM の容量制限のため、各原稿の容量を 500kB 以内に制限する。

3. 原稿フォーマット

図 1 に、原稿用紙イメージを示す。図のように、原稿用紙の上端 30mm、下端 25mm、左端および右端にそれぞれ 18mm の余白を必ず置く。また、表題欄については、論文番号を記入するために左端 50mm までの間、上端を 45mm にわたり空白を必ず空ける。

原稿はワープロソフトを使用して作成し、あまり小さいフォントを使用しないようにする。なお、文字の色は黒を使用する。

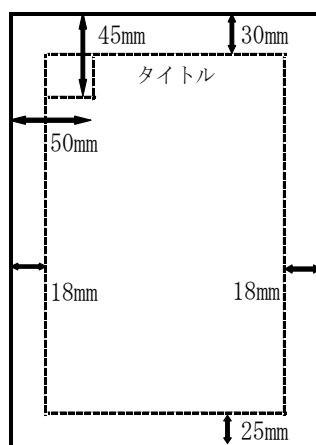


図 1 原稿用紙イメージ

3. 1. 表題

表題欄は、本文より大き目の文字で原稿用紙の 1 行目から書く。日本語論文の場合は必ず英語表題を日本語表題の下に付ける。

3. 2. 著者名

表題の下に書く。日本語論文の場合は必ずローマ字の著者名を併記する。その書式は、“名のイニシャル” + “.” (ピリオド) + “姓” とする。

3. 3. 所属

著者が一人の場合は、“氏名 (所属)” のように著者名に続けて所属を書く。著者が複数人の場合は、氏名を書き、行を改めて所属を書く。このとき、すべての所属先を一組のかっこ“()”で囲み、右肩上付きのアラビア数字でそれぞれの所属を示す。

3. 4. 使用フォント

原稿内に使用するフォントは表 1 のものに限定する。

3. 5. 写真や画像

PDF 化することにより、出力品質が劣化することがある。ファイル制限の 500kB 以内で PDF 化する際に、ジョブオプションの値をできるだけ高くして作成する。

3. 6. PDF ファイルのセキュリティ設定

事務局側で論文番号追加等の作業を行うため、セキュリティ設定はしない

3. 7. 参考文献

参考文献がある場合は、引用番号を付けて最後にまとめて列挙する。

表 1 使用フォント

	Windows	Macintosh
日本語	MS明朝または MSゴシック	細明朝または 中ゴシック 平成明朝または 平成角ゴシック
英語	Arial, Century, Times New Roman, Helvetica, Symbol	

(注意) 本例は説明のために原寸から縮小されている。

2019年度 「挑戦！！ロボットプログラミング」 @愛媛大学

参加
無料

日時：9月7日(土)

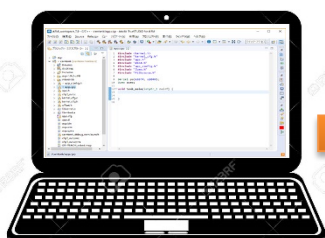
場所：愛媛大学工学部4号館5階 506室

対象：情報処理学会ジュニア会員(高校生以上)

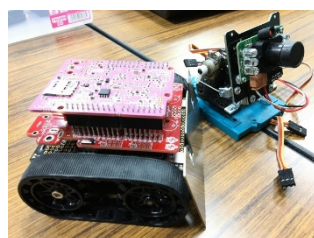
※大学3年生以下の大学生、小中高生など、無料で入会

※ジュニア入会方法はこちら：<https://www.ipsj.or.jp/junior/>

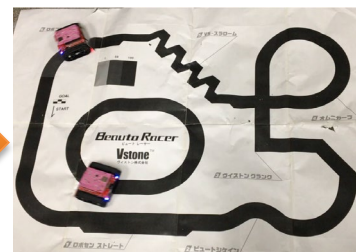
一緒に、ZUMOでライトレースロボットを作っちゃおう！



コーディング



ローディング



ランニング

【申込方法】

以下の項目を明記の上、メールにて送信してください。

- ①参加者氏名(ふりがな)②年齢③学校名④学年
- ⑤電話番号orメールアドレス

【メール送信先】enpitemb@cs.ehime-u.ac.jp

愛媛大学enpit-Emb 事務局

※未成年の方は指導教員または保護者の名前と連絡方法が必要です。

Webページからの申込みも可能です。右のQRコードからアクセスできます。

